

# 学力向上フロンティア事業中間報告書

都道府県名	秋田県
-------	-----

## 学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	本荘市立子吉小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	2	0	6	11
児童数	34	31	38	31	39	36	0	209	

## 研究の概要

### 1 研究主題

意欲的に学び、確かな学力を身につける子どもの育成

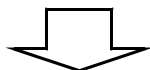
### 2 研究内容と方法

#### (1) 実施学年・教科

#### TTによる少人数指導の実施教科一覧

教 科	実施学年（週時間）	実 施 理 由
算 数 科	全学年（全時間）	これまでの算数科での成果を生かし、個に応じた多様な学習形態による少人数指導の在り方をさらに追究する。
理 科	3～6年（全時間）	理科を専門とする教諭を専科とし、学級担任とのTTを行うことにより、観察・実験等で効果的な指導をする。
国 語 科	全学年（各3時間） （2年生は週4時間）	これまでの算数科での実践をもとに、国語科でも基礎・基本の定着を目指した少人数指導の在り方を探る。
生 活 科	1～2年（各3時間）	学習と生活両面における指導を行うとともに、個の多様な思いに対応する支援の在り方を探る。
総合的な学習の時間	3～6年（各2時間）	個の多様な思いに対応しながら、体験的な活動においてきめ細かな指導をする。

TTのための教員配置については、なるべく学年に固定して、子どもの実態をよく把握し、効果的な指導ができるように配慮した。ただし、3年～6年の国語、理科においては、それぞれTT担当一人を専科的な教員として配置して、専門性を生かしたり、系統性を意識したりしながら指導できるようにした。



低学年部	教務主任，非常勤講師（県「少人数学習推進事業」）
中学年部	TT主任（フロンティアティーチャー）
高学年部	教頭，研究主任（フロンティアティーチャー）

中・高学年は若干の調整あり

(2) 年次ごとの計画

平成十四年度

テーマ

「意欲的に学び、確かな学力を身につける子どもの育成」

仮説

- (1) 教師の協力的な指導により、子どもの多様さに対応する少人数指導を実現することで、主体的な学びが成立し、一人一人に確かな学力が身に付くであろう。
- (2) 教科や総合的な学習の時間において、互いに伝え合い、学び合う場面を重視することにより、意欲的に学ぶ子どもが育つであろう。

研究内容・方法

- (1) 研究の全体構想・研究推進計画の作成及び研究体制の組織
- (2) 少人数指導の積極的な推進と協力的で弾力的な指導体制の確立
- (3) 指導のねらいを明確にした多様な学習形態の工夫と個に応じたきめ細かな指導の実践
- (4) 基礎・基本の確実な定着の調査と分析
- (5) 積極的な授業改善と公開授業研究会の実施

平成十五年

テーマ

「意欲的に学び、確かな学力を身につける子どもの育成」

仮説

- (1) 各教科において、個に応じた少人数指導を行うことによって、意欲的な学びが成立し、一人一人に確かな学力が身に付くであろう。
- (2) 問題解決のプロセスを大事にしながら、指導と評価の一体化を図ることで、学習により獲得した力を様々な場面に広げて深めていくことができるようになるであろう。

研究内容・方法

- (1) 1年次の研究の検証と改善
- (2) 少人数指導の積極的な推進と協力的で弾力的な指導体制の組織
- (3) 個に応じたきめ細かな指導のための単元開発と実践
- (4) 評価規準の作成と評価を生かした授業実践
- (5) 基礎・基本の確実な定着の調査と分析
- (6) 公開授業研究会の実施

平成14年度の課題を受けて、仮説を見直し、修正した。

平成十六年度

### テーマ

「意欲的に学び，確かな学力を身につける子どもの育成」

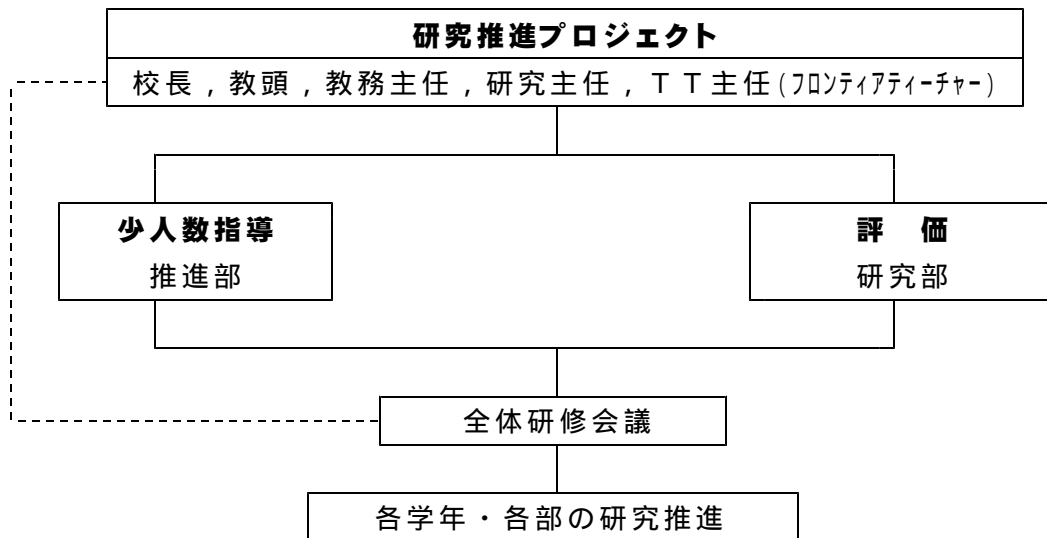
### 仮説

- (1) 各教科において，個に応じた少人数指導を行うことによって，意欲的な学びが成立し，一人一人に確かな学力が身に付くであろう。
- (2) 問題解決のプロセスを大事にしながら，指導と評価の一体化を図ることで，学習により獲得した力を様々な場面に広げて深めていくことができるようになるであろう。

### 研究内容・方法

- (1) 2年次の研究の検証と改善
- (2) 少人数指導の積極的な推進と，子どもの思い・願いに応えるための支援及び協力的で弾力的な指導体制づくり
- (3) 個に応じたきめ細かな指導のための単元開発と実践
- (4) 「指導と評価の一体化」を図った授業の実践（評価規準の活用）
- (5) 基礎・基本の確実な定着の調査と分析
- (6) 公開授業研究会の実施
- (7) 学校・家庭の連携・協力体制の確立
- (8) 「研究のまとめ」作成

### (3) 研究推進体制



平成14年度は「少人数指導推進部」「国語科研究部」「総合的な学習の時間研究部」の3つの部に分かれて研究を進めたが，15年度は2つの仮説に対応した「少人数指導推進部」と「評価研究部」の2つの部に分かれて研究を行った。

## 平成15年度の研究成果及び今後の課題

### 1 研究成果

(1) 指導に関わる全職員が、共通理解のもとに実践を行い、その取り組みや成果を共有しながら研究を進めることができた。

昨年度に引き続き、職員室内の時間割提示の仕方を工夫したり、週案を提出・掲示したりすることにより、情報交換や打ち合わせを効率的に行うことができ、TTの日常化を図ることができた。

少人数指導を中核にした研究を進め、ねらいに応じた学習形態の研究を深めることができた。

評価に関する研修を深め、評価規準を生かした指導を日常的に行うことにより、指導と評価の一体化を図ることができた。

(2) 授業に向かう教師の意識が高まり、意欲的に授業改善に取り組んでいる。

「板書の在り方」「課題提示（導入）の工夫」「発問」「話し合いの指導」など、週案作成時に課題と視点を明確にしながら授業改善に取り組んできた。

教材研究と児童理解を深めることで、子どもの思いや願いに応える指導を行い、個に応じた支援を実現することができた。

(3) 一人一人の子どもに確実に学力が定着してきている。

自己の学習スタイルを選択する学び方は子どもたちに浸透し、課題に取り組む意欲や集中力が向上してきている。

#### 少人数指導アンケート（実施：12月、対象：全校児童）

	昨年度	今年度
・コース選択学習について [学習しやすい]	88.4%	92.8%
・TTについて [学習しやすい]	85.1%	88.9%
・算数の学習について [楽しい]	78.1%	77.8%
・国語の学習について [楽しい]	調査せず	87.9%

一人一人の子どもへのきめ細かな指導により、基礎・基本の定着が図られている。

#### NRT学力検査 [算数科における偏差値平均]

	14年度	15年度
5年	[56.9]	[55.5]
6年	[55.8]	[62.9]

#### 学習状況調査 [算数科における平均通過率(全県比)]

	14年度	15年度
4年	96.1% (+14.0%)	96.8% (+16.8%)
5年	83.3% (+9.0%)	92.0% (+12.7%)
6年	81.4% (+10.2%)	85.0% (+17.2%)

## 2 今後の課題

(1) ねらいに応じた少人数指導をさらに推進する。

年間指導計画の整備（国語科，算数科）

- ・「付きたい力」を明確にした指導計画の作成と活用 効果的な少人数指導
- 子どもの思いや願いに応えるための支援
- ・きめ細やかな支援計画 個に応じる段階的なシート
- ・一人一人の学びを成立させるコース学習

(2) 評価規準の活用により，さらに個に応じた指導と評価の一体化を図る。

単位時間ごとの評価規準の整備（国語科，算数科）

- ・「評価規準入り座席表」などの記録簿の活用
- 自己評価力を高めるために
- ・自己評価の規準の作成
- ・自己評価一覧表の活用 自己の学びを振り返らせる

学力等把握のための学校としての取組 ～定期的な学力調査の実施～

調査名	時期	実施内容
N R T 学力検査	4月	5年（国語科・算数科）6年（国語科・算数科・社会科・理科）
学習状況調査	7月	4・5年（国語科・算数科・理科）6年（国語科・算数科・社会科・理科）
C R T 学力検査	1月	1～6年（国語科・算数科）
アンケート調査 （校内）	7月 12月	少人数指導，コース学習，T T について（国語科，算数科）

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

研究成果の波及を意識して，随時受け入れ態勢を整えてきた。今年度も，研究視察の希望を積極的に受け入れるように努めた。その際には，他校からの参加者に本校の研究内容を把握してもらうために，研究の概要・研究経過をまとめた資料や，校内研修に使用した資料などを配付し，学び合う機会を設けてきた。

また，授業研究会のほかに，研究発表会での発表を通して，少人数指導への取り組みや評価活動の取り組みを他校に紹介してきた。特に，評価についての考え方や評価規準の作成及び活用の仕方については，本校の実践を参考にして，同じような考え方や形式で評価規準や指導案を作成する学校も増えてきた。

より多くの学校に実践を紹介するため，本校の授業研究会だけでなく，県内外のフロンティア校の授業研究会にも積極的に参加し，協議会等で実践についての意見交換を行ってきた。

そのほか，中央地区フロンティア校（小学校）を中心に，昨年度の研究紀要を交換し，お互いの研究を学び合う機会をもった。また，フロンティア校以外からも「研究紀要を分けて欲しい」という依頼があり，その都度対応してきた。

授業研究会の公開，研究視察の受け入れ

6 / 19 (木)	第1回指定校訪問【国語科，算数科】 (旭北小，御所野小，前郷小，西滝沢小より5名) 「チャレンジ学習」，「協議会(研究説明)」，「授業参観」
7 / 1 (火)	要請訪問【算数科】 (旭北小，前郷小より4名) 「協議会(研究説明)」，「授業参観」，「授業研究会」
9 / 18 (木)	教科等訪問【算数科，体育科】 (院内小，小出小，西滝沢小より5名) 「授業参観」
11 / 27 (木)	第2回指定校訪問【国語科，算数科】 (御所野小，出戸小他27校より49名) 「授業参観」，「授業研究会」

各種研究会での実践発表

7 / 30 (水)	第19回齋藤六三郎賞 受賞 「少人数指導による学習効果」 代表：柴田圭介(研究主任)
8 / 20 (水)	仁賀保町教職員小・中全体研修会 「学力向上フロンティア事業の取り組みについて」 発表者：長谷部一夫(教頭)，柴田圭介(研究主任)
11 / 6 (木)	第52回東北地区国語教育研究協議会(弘前大会) 「思いや願いを伝え合うための書く力の育成」 発表者：大庭珠枝(国語主任)，柴田圭介(研究主任)
2 / 13 (木)	秋田県教育研究発表会 「思いや願いを伝え合うための書く力の育成」 発表者：大庭珠枝(国語主任)，柴田圭介(研究主任)
2 / 23 (月)	本荘市校長会経営研究協議会 「『学力向上フロンティア校』としての実践を通して」 発表者：齋藤光正(校長)

県内外の先進校(フロンティア校)の授業研究会等への参加

7 / 4 (金)	秋田市立御所野小学校 授業研究会参加(2名)
8 / 9 (土)	「学力育成を考えるフォーラム」 参加(1名)
9 / 10 (水)	秋田市立御所野小学校 授業研究会参加(2名)
10 / 17 (金)	羽後町立西馬音内小学校 公開授業研究会参加(2名)
11 / 20 (木)	六郷町立六郷小学校 公開授業研究会参加(2名)
11 / 21 (金)	天王町立出戸小学校 公開授業研究会参加(2名)
2 / 10 (火)	秋田市立旭北小学校 公開授業研究会参加(2名)
2 / 13 (金)	東京都清瀬市立清明小学校 公開授業研究会参加(1名)
2 / 20 (金)	八王子市立第一小学校 公開授業研究会参加(1名)
2 / 20 (金)	深谷市立常盤小学校 研究視察(1名)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               6学級以下                       7～12学級  
                                  13～18学級                       19～24学級  
                                  25学級以上
- 【指導体制】               少人数指導                       T・Tによる指導  
                                  一部教科担任制                       その他
- 【研究教科】               国語                       社会                       算数                       理科  
                                  生活                       音楽                       図画工作                       家庭  
                                  体育                       その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有                       無